

第 2 期多利用型統合的海域管理計画見直しの概要

- 第 2 期多利用型統合的海域管理計画を横断的・総合的に評価することで明らかになった現計画の課題について、次の 3 つの視点から見直しを行った。

① モニタリングの見直し

海洋環境の変化や利用に関する新たな状況に対応するため、必要な調査・モニタリングを整理する必要がある

・ モニタリング項目に「生態系サービス利用者の情報」を追加
 ・ 実施予定のないモニタリング項目を整理 等

＜該当箇所＞
 2 前期計画の総括 (2) 計画のあり方と今後の方向性
 (3) モニタリングについて
 3 保護管理の基本的な考え方 (3) 各種構成要素の保護管理等の考え方

② 複合的な評価のあり方の検討

これまでのモニタリング結果から、実施しているモニタリング項目間の連関を見ることで、生態系サービス利用が生態系に与える影響等の把握ができるのではないか

・ 計画に複数のモニタリング項目を総合的に評価する手法を検討することを記載

＜該当箇所＞
 2 前期計画の総括 (2) 計画のあり方と今後の方向性
 (3) モニタリングについて
 3 保護管理の基本的な考え方 (2) 知床の海洋生態系の概要と保護管理等の考え方

③ 地元への情報提供の検討

知床の生態系について、変化しているけれども、今後はどうなるのだという疑問や不安が地域住民にはあるので、それに対する専門家の答え、あるいは考え方が示されることが必要なのではないか

・ 計画にモニタリングにより得られた成果を地元還元するため、情報提供を行うことを検討することを記載

＜該当箇所＞
 2 前期計画の総括 (2) 計画のあり方と今後の方向性
 (3) モニタリングについて

※ その他

目的の追加、文言の時点修正、追加等

＜該当箇所＞
 目的の追加
 1 はじめに (2) 目的 目的に海洋生態系の保全と海洋レクリエーションなど人間活動による適正な利用の両立を追加

文言の修正等

1 はじめに (1) 計画策定の背景
 (3) 管理対象地域
 2 前期計画の総括 (1) 知床周辺海域の現状
 (2) 計画のあり方と今後の方向性
 3 保護管理の基本的な考え方 4 保護管理措置等 5 管理体制と運用